

バルセロナ・パリなどヨーロッパの環境保全型の先進モデルを日本の都心で活用！
日本初の、ICカード認証による無人貸し出し、決済モデルを構築！

2009年第123号
(2009.9.7)

JTB 首都圏

環境にやさしく、健康によい「自転車」を使った次世代型交通システム！

『コミュニティサイクル社会実験』東京・大手町、丸の内、有楽町エリアで実施

実施期間：2009年10月1日(木)～11月30日(月)

事前登録すれば、誰でも貸し出し拠点(エコポート)にある自転車を低料金で自由に利用可能！
全国への導入に向け、都市型観光モデルの促進を検討

株式会社JTB首都圏(東京都千代田区:代表取締役社長 野口 英明/以下、JTB首都圏)は、環境省からの委託により、地球に優しく健康にもよい次世代型の交通手段として期待される『コミュニティサイクル』の社会実験を東京・大手町、丸の内、有楽町エリアにて実施します。(実験期間:2009年10月1日(木)～11月30日(月))

コミュニティサイクルは、自転車と、歩道などの公共空間を使った新しい交通システム。既にヨーロッパの主要都市部では、公共交通を補完するとともに低価格で利用できる交通手段として、1日数十万人に利用されるなど広く普及しています。

国内でも自転車の利用は、運輸部門でCO2排出量のほとんどを占める自動車交通を抑制するとともに、近年益々高まりをみせるエコ志向や健康志向にもマッチする理想的な交通手段として注目されています。

今回の社会実験は、放置自転車問題、自転車が安全に走行できる道路環境整備など、日本特有の課題への対応を含めた、日本型のコミュニティサイクルを構築するための第一歩。個人認証による自動貸し出しシステムを使用した日本初の本格的な取り組みです。

尚、実験開始に先立ち、9月24日(木)から、JTB首都圏丸の内支店と、トラベルゲート有楽町支店の2箇所での利用者の事前登録を開始します。また、利用促進を図るため、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会会員等に、法人会員の募集も行います。

JTBグループでは、本社会実験を通じて、今後日本各地における都市型観光の促進や、新しい公共交通手段としての持続可能性を検討して参ります。



使用自転車(イメージ)



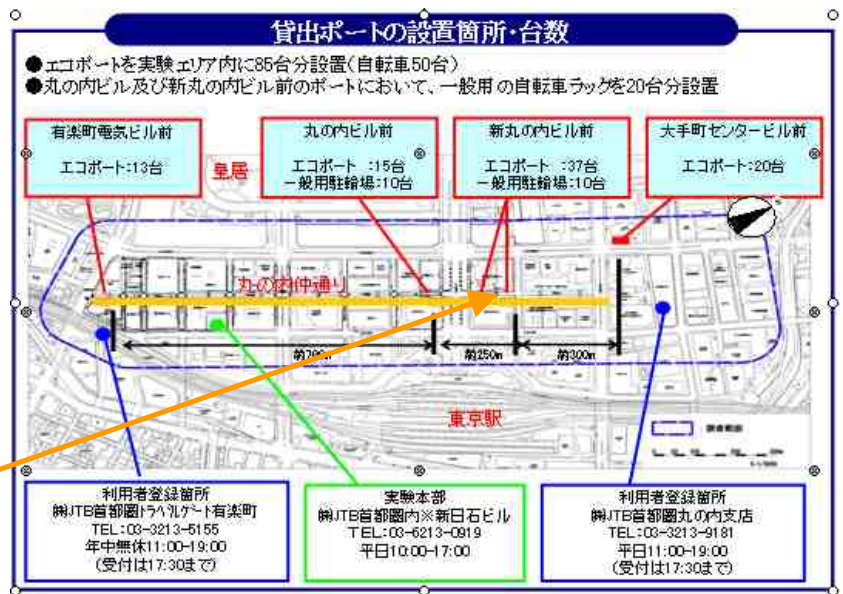
無人貸出機器(イメージ)



大手町センタービル前 エコポート設置(イメージ)

【実施概要】

1. 実施名：コミュニティサイクル（社会実験）
2. 実験期間：2009年10月1日(木)～11月30日(月)
3. 実験エリア：東京都千代田区大手町・丸の内・有楽町地区の「丸の内仲通り」を中心とした地域
4. 規模：貸出ポート（エコポート）を実験エリア内に概ね300m間隔で5箇所程度設置。
各貸出ポートに10台程度の自転車を配置。返却ラックは設置自転車の倍（20台）程度を設置。
また一般用の駐輪施設も併設。
5. 運用システム：非接触ICカード（FeliCa）・FeliCa搭載携帯電話・専用カードによる個人認証を行い、クレジットカードによる決済とすることで自転車の盗難を防止。情報通信システムにより台数管理、再配置を実施。
6. 料金：初回登録料：1,000円（法人会員制度も採用）
最初の30分無料 30分以降10分100円 3時間以降5分100円
貸出時間は24時間を上限とし、24時間経過後は自転車代金相当額を請求。
将来的に、訪問店舗との提携、地域全体の誘客など、地域とのWINWIN収入モデルを構築
7. 貸出ポートの設置箇所・台数：
エコポートを実験エリアに85台分設置（自転車50台）
丸の内ビル及び新丸の内ビルエコポートに、一般用の自転車ラックを20台分設置。
8. 実施機関：株式会社JTB首都圏
実施協議：大丸有地区コミュニティサイクル社会実験協議会
委託者：環境省 水・大気環境局



実験エリア: 大手町・丸の内・有楽町地区の「丸の内仲通り」

〈報道関係の皆様のお問合せ先〉 JTB広報室

TEL: 03-5796-5833

〈一般のお客様のお問合せ先〉 JTB首都圏 首都圏交流推進室

TEL: 03-6213-0919

コミュニティサイクル専用サイト: <http://www.jtb.co.jp/e/tabichari/c-cycle/>